

【松山市の一般廃棄物処理事業実態調査の結果(環境省調査)】

1人1日当たりごみ排出量827.8g (全国平均 978g/人日)

7年連続 人口50万人以上の都市で最少

ごみの排出量は、全国的に近年減少傾向を続けており、大量生産大量消費型の社会からごみが発生しにくい循環型社会への転換が図られてきていると思われます。本市では、環境省が調査している一般廃棄物処理事業実態調査において7年連続で1人1日当たりのごみ排出量が人口50万人以上の都市の中で最少となっており、これは、景気の影響及び循環型社会への転換とともに、本市のごみ減量施策に対する市民の皆さまのご理解とご協力によるものであると言えます。

【松山市の経年結果】

年 度	総排出量	1人1日当たり 排出量	順位	考 察
平成 18 年度	170,634 t	908.7 g/人日	1 位	家庭系ごみの分別区分の変更により家庭から排出される可燃ごみが減少し、リサイクル率が向上しました。また、事業系ごみの受入態勢が厳格化され、排出量が大幅に減少しました。
平成 19 年度	159,888 t	849.2 g/人日	1 位	持ち去り行為による紙類の回収量減少が大きな要因ですが、ほぼすべてのごみ種において排出量が減少傾向です。
平成 20 年度	154,348 t	822.0 g/人日	1 位	持ち去り行為による紙類の回収量減少に加え、ほぼすべてのごみ種において、前年度より減量が図られました。
平成 21 年度	160,013 t	850.9 g/人日	1 位	条例を改正し、持ち去り行為を禁止したことにより、紙類や金物・ガラス類の回収量が増加しました。一方、可燃ごみ等の排出量は引き続き減少傾向です。
平成 22 年度	158,008 t	839.1 g/人日	1 位	持ち去り行為の減少に伴い、紙類の回収量は昨年より微増です。可燃ごみや事業系ごみの排出量については、依然として減少傾向です。
平成 23 年度	156,439 t	828.7 g/人日	1 位	ペットボトルの分別回収開始に伴い、分別の徹底やごみ排出量の抑制が図られ、特に家庭系ごみの排出量が前年度に引き続いて減少傾向です。
平成 24 年度	156,529 t	827.8 g/人日	1 位	市民・事業者の皆さまのごみ減量やリサイクルに対する意識の高まりとご協力によって、引き続き、分別の徹底やごみ排出量の抑制が図られているものと推察します。

注) 人口は住民基本台帳に基づいており、平成 24 年度から総人口に外国人人口を含んでいます。

【各部門のベスト3】

	人口 10 万人未満	人口 10 万人以上 50 万人未満	人口 50 万人以上
リデュース (1人1日当たりのごみ排出量) 全国: 963 g/人日 (外国人を含まない場合: 978 g/人日)	1. 徳島県 神山町 253.0 g/人日 2. 奈良県 野迫川村 253.4 g/人日 3. 長野県 川上村 289.3 g/人日	1. 東京都 小金井市 637.0 g/人日 2. 静岡県 掛川市 651.3 g/人日 3. 東京都 日野市 704.8 g/人日	1. 愛媛県 松山市 827.8 g/人日 2. 東京都 八王子市 829.5 g/人日 3. 広島県 広島市 841.4 g/人日